

新しい生活様式 With エコ活

令和3年1月発行 なひがんばる隊

日常が何かおかし



3月15日 桜みつけた!
3月28日 もう満開

スズメバチの巣市街地へ

家の庭木に巣ができた。長老に聞いたら、昔は市街地にスズメバチの巣はなかったと教えてくれた。スズメバチについて調べると、もともと山間部にいるが、山が荒れてエサとなるものが減り、生ごみなどをエサにして市街地へ移り住んでいる。このままだと刺されてケガをしてしまう。平成二十八年の壁新聞で書いたように「森づくり」をしていくこと必要だと思っ

蚊が増えた

夏休みには蚊について調べた。蚊は汗や常在菌に近寄ることが分かった。そこで、左足だけ消毒液で拭き、蚊がたくさんいる湿気のある溝に立ち止まった。するとすぐに、消毒液で拭いていない右足だけ蚊が直ぐにきて刺された。蚊の数はハンパではなかった。11月でも夜寝ている時に蚊に刺されたので、温暖化によって蚊の活動期間が長くなり、蚊の数が増えていると実感した。



右足 かゆい(>_<)

漁業

5年連続で伊勢湾の小女子が禁漁になり、また2年連続で真珠のアカヤガイと養殖カキが大量死した。原因は海水温が高いことである。昨年作成した壁新聞のように「海づもり」をしていくことが大切だと思っ

農作物

高温が続く、雨が降らなかつたので、地産地消の直売所でも野菜は高値になり、梨などの特産物の品質も低下した。家庭菜園の野菜にも被害が増え、せつかく育った野菜もかじられた。小玉スイカを楽しみに育てたけど、害虫にやられて全滅した。シヨック



リサイクル

近所のスーパーで、昨年から食品トレー回収時にもらえるポイント制度がなくなった。食品トレーの回収率は?店の人に尋ねると、回収率は半分以上になったとの話。ゴミ増加?環境イベントなども中止になり、リサイクルせずにゴミとして処分する人が増えたかもしれない。

- 今年の海岸清掃ベスト3のゴミ
- ・プラスチック(海洋プラスチック)
 - ・ペットボトル
 - ・食品トレー



対策

海岸清掃をどれだけ続けなくてもこのままではゴミは減らない。例えば、食品トレーに十円料金を加算してそれをきれいに洗って返金してもらえらるようにするなど、色々と対策を考えないとゴミは減らないと思う。このことを首相官邸へメールして改善要望をした。

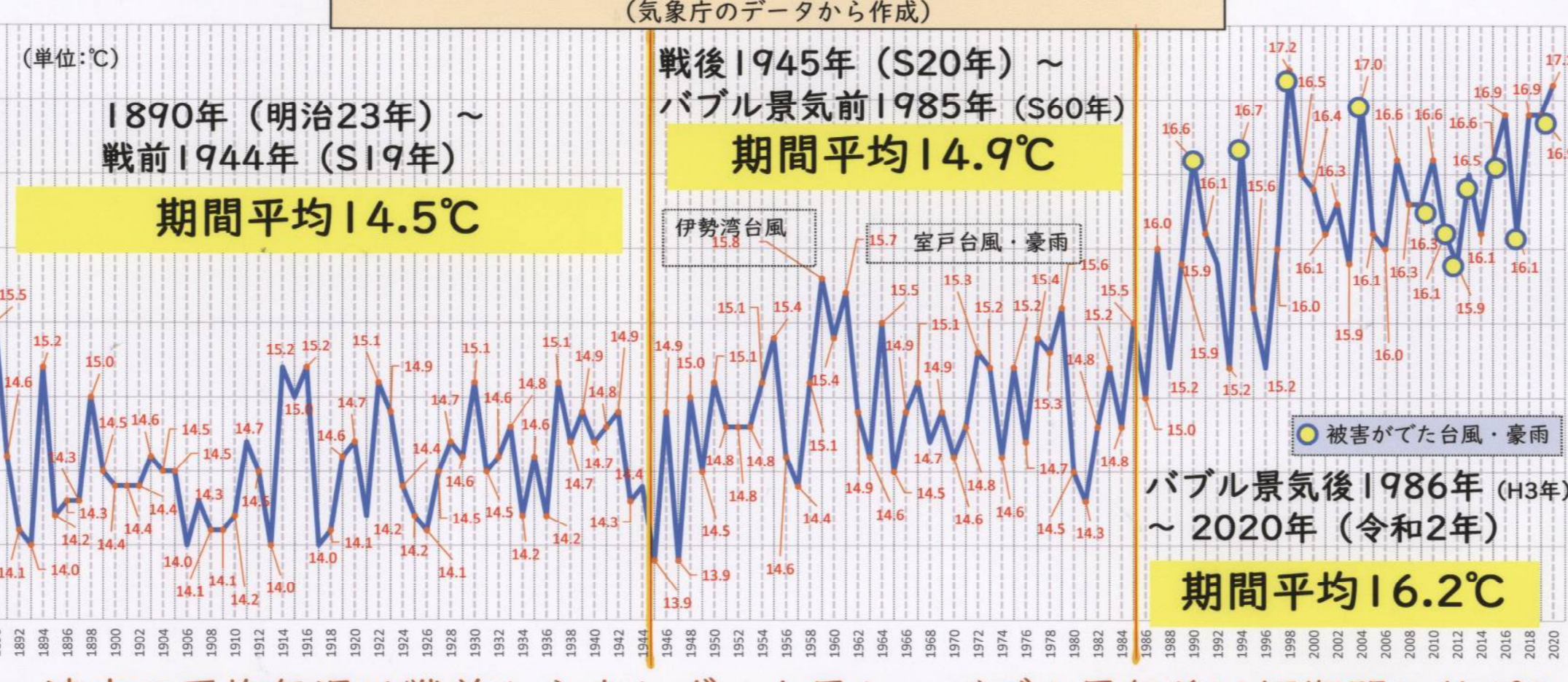
津市が沖縄になる?

約100年後には2.6~4.8℃の気温上昇が予測されている。そうすると、2020年の津市の平均気温17.1℃なので、約100年後は今の沖縄県名護市23.2℃や屋久島19.9℃とほぼ同じ気温になるかもしれない。

津市の気象災害歴

平均気温が前年より高い場合に被害が発生していることが多い。特に1986年のバブル景気後はほぼ1~2年おきに気象災害が発生している。

津市の年間平均気温の推移



津市の平均気温は戦前から少しずつ上昇し、バブル景気後は短期間に約1℃も上昇している。僕たちのまちでも地球温暖化はすでに始まっている!

気象

ゲリラ豪雨がきて、びしょ濡れになった日があった。高温が続く外で遊べない日が増えた。

塩づくり

伊勢神宮に奉納する塩づくりを見学した。作業は古来の作り方で、海水をろ過して薪でたいた釜で半日以上煮詰めて蒸発させる。この塩は海の栄養分とほぼ同じである。



【お願い】細かいゴミを捨てるのは手間がかかって大変なので、ポイ捨ては止めて下さい。

このままだと地球はもう、おしまいです。お・し・ま・い death

- 1 神社 (MLO水道の駐車場)
- 2 一時避難場所 (MLO水道の駐車場)
- 3 避難所 (MLO水道の駐車場)
- 4 公園 (MLO水道の駐車場)
- 5 公園 (MLO水道の駐車場)
- 6 一時避難場所 (MLO水道の駐車場)
- 7 一時避難場所 (MLO水道の駐車場)
- 8 広場 (MLO水道の駐車場)
- 9 病院 (MLO水道の駐車場)
- 10 公園 (MLO水道の駐車場)
- 11 避難所 (MLO水道の駐車場)
- 12 公園 (MLO水道の駐車場)
- 13 一時避難場所 (MLO水道の駐車場)
- 14 避難所 (MLO水道の駐車場)



温暖化でゲリラ豪雨がおきたり、南海トラフ地震がいつの時に、避難してもおこな万が一の時の、避難場所が不安な避難場所について調べた。

指定避難所 津市に質問
・2m以上の距離を取る。
・段ボール間仕切りを設置と体調不良者専用スペースを確保する。
・定数を超過した場合は別の部屋等へ拡充し、それでも無理な場合は最寄りの避難所等へ移動する。

避難先に不安あり
コロナ禍では指定避難所以外の遠くへ避難する必要があることが分かった。そのため、高齢者など避難に困る人も出てくるので、近く避難場所として利用できる場所を探し、かつ、みんなが安全に避難できるルートを探すことにする。

何をすべきか

みんなが毎日する
みんなが一日一つ以上のエコ活動を必ずやる。日本の人口は約1億2千万人なので、毎日ゴミを一つ捨ただけでも効果はあり、身近にできるエコ活動

身近なエコ活 (ポイント: 楽しく)

- 植樹などのイベントに参加する (やれば楽しめることが多い)
- 物を大切に使う (どこまで使えるか競う)
- 小1から使っている筆箱だ!
- 清掃活動 (水切り等の遊び時間を入れる)
- 茶ガラを家庭菜園にまいたり、雨水で水やりをする。(虫や成長の変化があるか観察)
- TVなどの主電源をエコタップを使い交替で消す (電気をこまめに消す(使ったら消すと習慣にする))
- 自然を楽しむ

みんなで新しい生活様式でコロナと温暖化をやっつけよう! 僕らの未来のために



- ### 避難場所の条件
- 1 車中やテントで避難でき、かつ密にならない広い場所
 - 2 近くにトイレや水がある場所
 - 3 ラジオが聞ける場所

津波の場合、避難所③へ行けなくなることが分かった。地域で一番定員の多い避難所⑭へは徒歩では行けるが、車では倒木で行けない可能性がある。そうすると、お年寄りや体の不自由な人が困る。そこで、今回調べた避難場所であれば車でも行けるので安心である。コロナ禍でもみんなが無事に避難できるように声かけをしたい。

子どもエコクラブ壁新聞 (2020年度) (掲載サイズ用)

クラブ所在地 三重県 津市

クラブ名 なひがんばる隊

(2020年度 応募作品) 〇幼児クラブの審査を希望